

(日記帳の中身)

■エフェクト…(回想のようなエコーを掛けるか未定)

//正面 15CM

(クールな感じ)

Track01

いつもいつもベッドを濡らしてごめんなさい。

どうしてなんだろう、貴方に触れられてると、オマンコの奥からとめどない量のお潮が勝手に溢れ出てきちゃうの。

それはどれだけ我慢しても絶対に止められない。

これを書いてる時もオマンコ、大変な事になってる。

私、どこかおかしいのかな。

今日は貴方と昔の話が出来て本当によかった。

だってあの日から、私の時間はずっと止まったままだったから。

それがようやく今、動き出した。

こんな私だけど、これからもそばに居させてもらったら嬉しい。

Track02

演技が下手くそでごめんなさい。

疑似レイプだってわかってても、貴方が私の中にいるって思うと…身体が勝手に反応して。

だって、小さい頃から貴方に犯されるのが、私の夢の一つだったから。

だけど、そんな事言ったら嫌われると思ってずっと言えなかった。

だから、今日は貴方の方から襲ってくれて、本当に嬉しかった。

でも、そんな私だからこそ、重くなったら言って欲しい。

その時は潔く部屋から出ていくから。

嘘、本当は絶対に離れたくない。

死んでも離れたくない…けど。

それ以上に、貴方の重荷にだけはなりたくない。

#### Track03

貴方の事が大好き…本当に好き。

堪らなく好き…世界中で一番大好き。

本当はこの思いを直接伝えたい。

でも、この気持ちを言葉で伝える事は出来ないから。

日記にだけ書くね。

こんなすぐにイツちゃう女、迷惑かもしれない。

重いかもしれない。

すぐに気持ち悪くなるかもしれない。

そんな時、いつでも捨てれるように、この気持ちは心の中に封印しておく。

四葉のクローバーをずっと持っていてくれて、頭がおかしくなるくらい嬉しかった

でも、そんな気持ちを言葉に出来なくて。

小さい頃から何をされても顔色一つ変えない、鉄仮面っていじめられて。

そんな自分が本当に嫌い。

#### Track04

貴方と再会した日…本当は私、自分で自分を殺そうとしてた。

ううん、機械みたいな私だから、壊そうとしてたが正しいのかもしれない。

だけど、今日、貴方から私は物じゃない、一人の人間だって言われて、なんて答えればいいかわからなかった。

貴方の言葉を聞いていると、なんだか胸の辺りがポカポカする。

ねえ、私は機械じゃないの？ 一人の人間として生きて良いの？

あれから、幸せの意味をずっと考えてた。

だけど、答えは全然出てこない。

だんだん眠くなってきた…もう少し書いたら今日は寝よう。

でも、どうして

これを書いている時もアソコだけはどんどん熱くなってくる。

もしかして心が反応しないから、代わりに身体が…。